

4. 活動報告

4. 1 会議録

平成 30 年 7 月 19 日 第 1 回会議

所：浅間火山観測所

時間：随時

出席者：筒井，平山，池田，竹内，安藤，辻，西垣 PA

会議内容：来年度の観測場所の選定，小浅間観測点付近調査

平成 30 年 9 月 13 日 第 2 回会議

場所：浅間火山観測所

時間：随時

出席者：筒井，平山，池田，安藤

会議内容：観測所—小浅間観測点間の光ケーブル調査等

平成 30 年 2 月 13 日 第 3 回会議

場所：霞が関ビル

時間：13時～15時

出席者：筒井，平山

会議内容：評価調査票の内容，今後の事業の方針，光システムの今後の展開について

平成 30 年 3 月 13 日 第 4 回会議

場所：白山工業

時間：16時～18時

出席者：筒井，中道，平山，池田，竹内，安藤

会議内容：平成 30 年度総括，および今後の方針について

4. 2 対外的発表

・平成 30 年日本火山学会秋季大会（会場：秋田大学）にて発表（発表 A3-08，平成 30 年 9 月 28 日）「位相シフト光干渉振動観測システムによる浅間火山観測」

5. むすび

位相シフト光干渉法振動観測システムを火山観測に適した多チャンネル観測システムにすべく平成 30 年度の取り組みが行われた。平成 30 年度は前年度得られたデータの精密解析，新しい光システムの構築，新しい光システムの観測準備を行った。前年度得られたデータの精密解析では表層地震波速度構造の調査結果をもとに光センサアレイ各点の走時補正值を推定し，走時補正を行った上で解析を進めた。また，新しい光システムの構築では，前年度までの試験観測で用いた試作機の経験を踏まえて，小型軽量化，長周期化，汎用光ファイバ対応化を施した新しい光セ

ンサを開発・製作した。さらに新しい光システムの観測準備では平成31年度以降実施予定の観測の候補地を検討し、選定された候補地の下見と光回線の通信テストまでを実施した。これらの取り組みによって、今後の課題遂行の基礎が形成された。平成31年度は課題責任者および課題責任機関が交代せざるを得ないが、これらの基礎のうえに光センサシステムが順調に検証をかさねて実用機に近づくことを願ってやまない。